Impressa F50 取扱いマニュアル (業務用）

ユーラ　インプレッサ F50　ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検
メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去
定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄
長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

4. 保証書
故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合
故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為
⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて
●コンセントは、100V（ﾎﾞﾙﾄ）で機械一台あたり 15A(ｱﾝﾍﾟｱ）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ / コードについて
●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について
●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて
●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について
●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています**。
●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。
アース線は次の場所に接続しないでください。
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止
●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置
●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止
●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止
●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止
●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

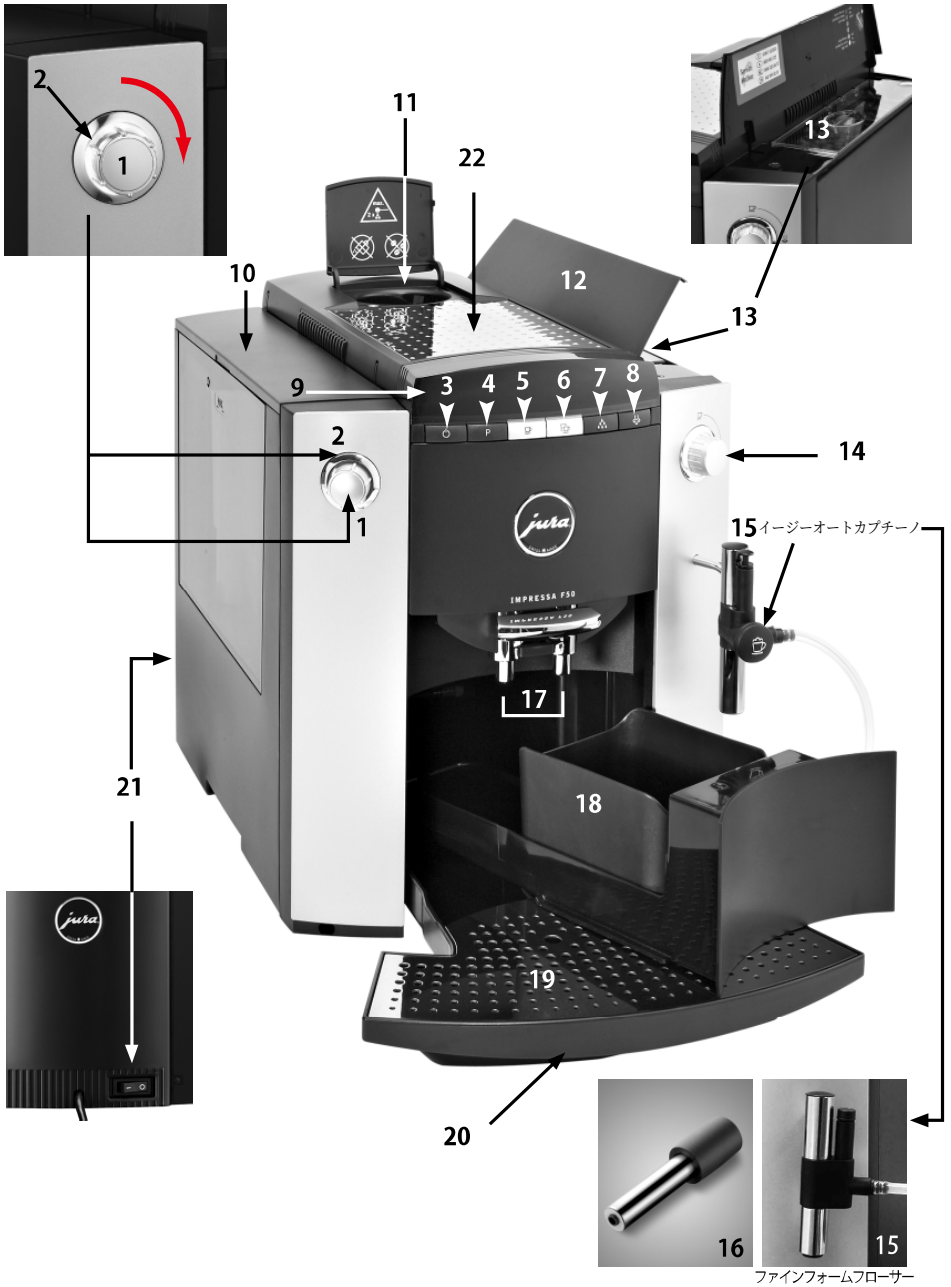
⚠ 注意：機械故障の防止
●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め
●定期的に下記の点検を必ず行ってください。
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について
●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

Contrasto 株式会社コントラスト
東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒 142-0041)
TEL03-3783-8899　FAX03-3783-6589
e-mail : info@contrasto.jp

■インプレッサ F50 各部の名称



1 : ロータリースイッチ
2 : イルミネーションリング
3 : ON/OFF スイッチ
4 : プログラミングキー
5 : 1 杯取り抽出ボタン
6 : 2 杯取り抽出ボタン
7 : リンスボタン
8 : スチームボタン
9 : ディスプレイ
10 : 水タンク
11 : 洗浄タブレット投入口（パウダーコーヒー投入口）
12 : 豆ホッパーカバー
13 : アロマ保存カバー（中蓋）
14 : スチーム / 給湯ノブ
15 : イージーオートカプチーノ または ファインフォームフローサー（生産時期により異なります）
16 : 給湯ノズル（ウェルカムパック内）
17 : コーヒー抽出口（高さ調整付）
18 : 粕ケース
19 : ドリップパネル
20 : ドリップトレイ
21 : 主電源スイッチ
22 : カップ台

■ディスプレイ表示の意味：基本編（英語または日本語表記の場合）

READY 選択可能	EMPTY GROUNDS 要廃棄粕	PRESS RINSE 押すリンス	DECALCIFY CA 除去
メニューボタン（5 ～ 6）を選択してください	粕ケース（18）を空にしてください	リンスをしてください（リンスボタン（7）を押す）	カルシウム除去プログラム（p12）を実行してください
FILL WATER 要補充水	EMPTY TRAY トレイ内要廃棄	CLEAN 洗浄	FILTER 浄水器
水タンク（10）に水を補充してください	ドリップトレイ（20）を空にしてください	洗浄プログラム（p11）を実行してください	※浄水器クラリスプラスをご使用の場合 浄水カートリッジを交換してください（p3 参照）
FILL BEANS 要補充豆	TRAY MISSING トレイリセット		
豆ホッパー（13 の下）にコーヒー豆を補充してください	ドリップトレイ（20）が入っていません		

■初めてお使いになるとき（※必ず行ってください）

■電源

①マシン背面の主電源スイッチ（21）を投入します。

②豆ホッパーカバー (12)、アロマ保存カバー (13) を開け、コーヒー豆を補充し、フタを閉めます。

③マシン前面の ON/OFF スイッチ (3) を押します。

■表示言語設定

①電源を入れると初期設定の言語が表示されます

LANGUAGE
ENGLISH

②ロータリースイッチ（1）を回して日・中・韓・英・独の 5 ヶ国語の中からご希望の言語を表示させます。

例：
日本語と表示されたところでロータリースイッチ（1）を押すと日本語が選択されます。

日本語

（各言語を選択した後でも、言語設定メニューへの出入りは LANGUAGE と英語で統一表記されます）

※以降、英語と日本語　2 種の表記にてご説明します。

■動作準備

①水タンク (10) を取り外してすすぎ、新鮮な水で満たしてマシン本体に戻します。

②イージーオートカプチーノまたはファインフォームフローサーの輸送用保護キャップを外し、適当な容器を下に置きます。

③ディスプレイ表示

OPEN TAP	ノブ　閉

④スチーム / 給湯ノブ（14）を時計回りに給湯マークの位置まで回します。自動的に設定がスタート。少量の水分がイージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーから出るので容器で受けます。（水は自動的にとまります。）

⑤ディスプレイに CLOSE TAP またはノブ閉と出たらスチーム / 給湯ノブ (14) を元の位置に戻します。

FILLING SYSTEM	補充中 水経路
CLOSE TAP	ノブ　閉
HEATING	水経路 加熱中
PRESS RINSE	押す リンス

⑥右の表示が出たらコーヒー抽出口（17）の下に容器を移動し、リンスボタン（7) を押します。30 ～ 60 秒程水分が出てとまります。

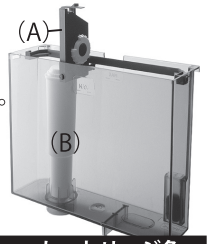
⑦以下の表示が出たら設定終了、コーヒー抽出が可能です。
（※使い初めはまだグラインダー内に十分な豆が落ちていないため **FILL BEANS / 要　豆補充**　の表示が出てしまいます。ならし運転として何度かボタンを押し、初めの数杯は捨ててください。）

READY	選択可能

■専用浄水器クラリス設定

（ご使用にならない方は次頁、クラリス使用・不使用設定へおすすみください）

①水タンク (10) を取り外し、中の水を空にします。カートリッジホルダー（A) のつまみを手前にひきながら上に持ちあげます。ウェルカムパック内のクラリスカートリッジを図の様に水タンク内にしっかりと差し込みます（B)。ホルダーを元の位置に戻し、カチッと音がして固定されたことを確認、タンクに水を満たしマシン本体に戻します。



※マシンの製造時期により交換用カートリッジの色・名称が異なります。下記をご参照下さい。

ホルダー（A) の色	交換カートリッジ名称	カートリッジ色
黒	**クラリスホワイト**または **クラリスプラス**（どちらでも可）	白
水色	**クラリスブルー**	水色

②プログラミングキー（4）を長押ししてディスプレイに以下のように表示させます。

P	FILTER ✓	浄水器

③ロータリースイッチを押します。
④ロータリースイッチを回して以下のように表示させ、スイッチを押して決定します。

YES ✓	使用

⑤以下の表示が出たらイージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの下に適当な容器（500ml 以上）を置きスチーム / 給湯ノブ（14) を時計まわりに給湯マーク まで回します。

⑥ 500ml 程水が出た後、右の表示が出たらスチーム / 給湯ノブを元の位置に戻します。

⑦設定終了。

INSERT OPEN TAP	ノブ　開
RINSING FILTER	リンス中 浄水器
CLOSE TAP	ノブ　閉
READY	選択可能

■専用浄水器・クラリスプラス

■クラリスプラス使用・不使用設定

①プログラミングキー(4)を長押しして設定画面に入ります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

FILTER ✓	浄水器

②ロータリースイッチを押します。
(＝項目選択)

③ロータリースイッチを回して
以下のように表示させます。

浄水器ご使用の場合

YES ✓	使用

浄水器不使用の場合

NO ー	不使用

④ロータリースイッチを押して選択決定。

(※不使用を選択され、続けて水質硬度設定をする場合はロータリースイッチを回して該当メニューを表示させます。右の項参照。)

⑤プログラミングキー(4)を押して設定終了。
通常画面に戻ります。

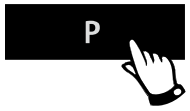
READY	選択可能

！ご注意！
浄水器を使用する設定にすると、自動的に交換期(50 ℓ)をお知らせする機能が働きます。
浄水器をお使いにならない場合は必ず不使用の設定をしてください。

■水質硬度設定
※クラリスプラス不使用の方は要設定

専用浄水器をお使いにならない場合は定期的にマシン内部たまったカルシウムを除去する作業が必要です。(要専用除去剤)お使いの水質にあわせてカルシウム除去が必要な時期を自動的に判断表示させるため、以下の設定を行ってください。
(カルシウム除去の方法はｐ 12 へ。)

①プログラミングキー(4)を長押しして設定画面に入ります。
ディスプレイに以下のように表示されます。



FILTER ✓	浄水器

②ロータリースイッチを回して以下のように表示させます。

HARDNESS	水質硬度

③ロータリースイッチを押して項目決定。

④ロータリースイッチを回して任意のレベル(0 ＝不使用～4)を表示させます。(初期設定：3)日本は軟水のため通常は LEVEL1 をお勧めしますが、ウェルカムパック内の硬度テスターを使用し、お使いの地域の水質に合わせご選択下さい。

例) レベル 1 の場合

LEVEL1	レベル 1

④ロータリースイッチを押して選択決定。

⑤プログラミングキー(4)を押して設定終了。
通常画面に戻ります。

READY	選択可能

■浄水カートリッジ交換
クラリスご使用の方

① 50 ℓ の水を浄水すると、以下の表示で交換時期をお知らせします。
※浄水量が 50 ℓに達しない場合でも、取付から 2 ヶ月経過した場合はカートリッジをお取替えください。
※対応カートリッジ名称は前頁クラリス使用設定の項でご確認下さい。

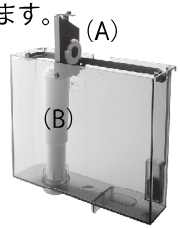
FILTER ✓	浄水器

！重要！
②マシン前面の ON/OFF スイッチ (3) を押し電源を切ります。

③以下の表示が出るまでリンスボタン(7)を長押し。

CHG. FILTER OPEN TAP	交換必要 ノブ　開

④水タンク (10) を取り外し、中の水を空にします。
カートリッジホルダー(A)のつまみを手前にひきながら上に持ちあげ使用済カートリッジを抜き、新しいカートリッジを図のように水タンク内にしっかりと差し込みます(B)
ホルダーを元の位置に戻し、カチッと音がしてフィルターが固定されたことを確認、
タンクに水を満たしマシン本体に戻します。



⑤イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの下に適当な容器(500ml 以上)を置きスチーム / 給湯ノブ (14) を時計まわりに給湯マークの位置まで回します。以下の表示が出て水が排出され、自動的にとまります。

RINSING FILTER	リンス中 浄水器

⑥右の表示が出たらスチーム / 給湯ノブを元の位置へ。

CLOSE TAP	ノブ　閉
HEATING	加熱中

⑦交換完了。

READY	選択可能

■抽出の準備 毎日のご使用前に行います。

①主電源
マシン背面の主電源スイッチ（21）を投入します。

②給水

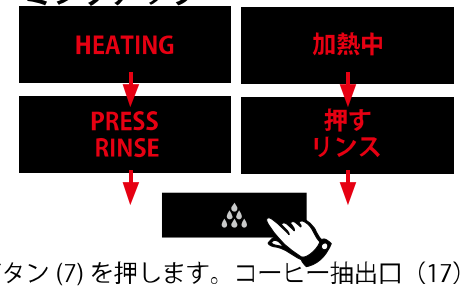
きれいにすすいだ水タンク (10) に水をいれます。※お湯、ミネラルウォーター、電解水等は使用しないでください。クラリスプラス不使用の方はご家庭の浄水器の水をご使用ください。

③豆の補充

豆ホッパーカバー (12)、アロマ保存カバー (13) を開け、コーヒー豆を補充し、フタを閉めます。

④電源投入

ON/OFF スイッチ (3) を押します。

⑤ウォーミングアップ


リンスボタン (7) を押します。コーヒー抽出口（17）より少量のお湯がでます。

上記の表示が出たら抽出準備完了です。

⑥抽出口の調節

コーヒー抽出口（17) をカップの高さにあわせ調節します。
1 杯取りのときは 2 本の抽出口の中心に、
2 杯取りのときは 2 本の抽出口
それぞれの下にカップを置きます。

■コーヒーの抽出（1 杯取り）

①抽出量設定
以下の表示が出ている時にロータリースイッチを押すと前回抽出時の設定量が表示されます。変更したい場合はロータリースイッチ（1）を回してお好みの抽出量（5ml 単位）を表示させます。

②濃度選択
1 杯取抽出ボタン（5）を押すとコーヒーが抽出されます。ボタンを押す回数でコーヒーの濃度（挽き豆量）を決定します。

1 回押＝ MILD/ マイルド
2 回押＝ NORMAL/ ノーマル
3 回押＝ STRONG/ ハード

※抽出中でもロータリースイッチ（1）を回すことで量を変えることができます。また、再度ボタン（5）を押せば抽出を途中でとめることができます。
※設定後 2 杯取り抽出ボタン（6）を押すと抽出量は自動的に 2 倍になります
※表示される量（(ML) はあくまで目安であり、実際の量には多少の誤差が生じます
※濃度はボタンを押す長さによっても変更できます。（長く押すほど濃度は濃くなります（上記 3 段階）

■コーヒーの抽出（2 杯取り）

①抽出量設定
ロータリースイッチ（1）を回してお好みの抽出量（5ml 単位）を表示させます。表示されるのは 1 杯あたりの抽出量です。

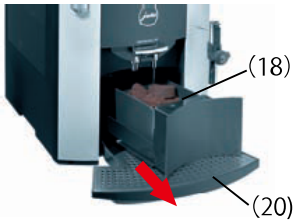
②濃度選択
2 杯取の場合はマイルドのみ。濃度選択はできません。
2 杯取抽出ボタン（6）を押すと設定量のコーヒーが 2 杯抽出されます。

※抽出中にコーヒーがポタポタとつまり OPEN TAP/ ノブ開と表示が出たら…以下をお試しください。
→イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの下に適当な容器を置きスチーム / 給湯ノブ（14) を時計まわりに給湯マークまで回し CLOSE TAP/ ノブ閉表示が出たら元に戻す。
→豆ホッパー内のダイヤルを 1 段階粗く（●の大きい方へ）して再度抽出。改善されなければ更にもう 1 段階粗くする。

■粕の捨て方・排水

①コーヒー粕を捨てる
16 杯の抽出をカウントすると下図の表示がでます。

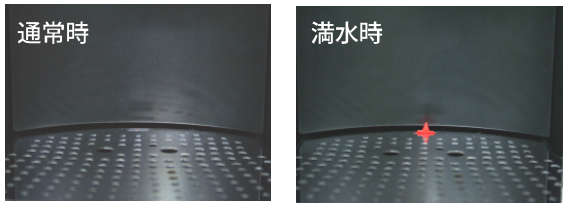
右図のように本体からドリップトレイ（20) をひきだします。
(前端を軽く持ち上げるようにすると簡単に外れます)



粕ケース（18) を取り出して中にたまった粕を捨て、
水で簡単にすすぎます。このとき、ドリップトレイにたまった排水も捨ててください。

※ドリップトレイを外しているあいだは下図のように表示されますが、元に戻すと表記は消えます。

②ドリップトレイの排水
ドリップトレイ（20) に排水がたまるとドリップパネルに赤い排水マーカーが表れ（写真)、ディスプレイには下図の表示がでます。上図を参照し中にたまった排水を捨ててください。



満水になると取り外し時に中の排水がこぼれやすいため、表示が出ていなくてもまめに排水されることをおすすめします。

■カプチーノの抽出（イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサー）

■イージーオートカプチーノ ファインフォームフローサー ご使用方法

※イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーは毎日洗浄し、常に清潔に保ってください。
※イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーが本体にしっかり取付けられていることをご確認ください。正しく取付けられていなかったり、ノズルに乾いたミルクが詰まっていたりするとスチーム噴出中に突然ノズルが外れる可能性があります。

はじめてお使いになる時は輸送時用保護カバーを取り外してください

イージーオートカプチーノ

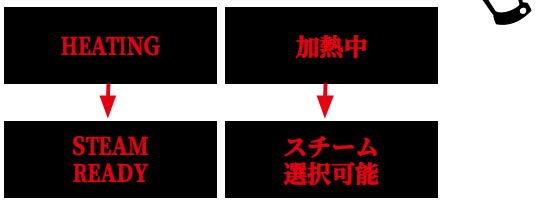
ファインフォームフローサー

ホースのセット

①ウェルカムパックに入っているミルクホースを本体（15）に取付けます。（除菌シートなどで拭くとなお可）

空だし

②スチームボタン（8）を押します。



③スチーム / 給湯ノブ（14）を時計まわりに回します。水っぽい蒸気が出るので 5 秒程待ち、（手などにかからないよう注意）その後ノブを元の位置に戻して下さい。スチーム噴出中はディスプレイに以下の表示がでます。

牛乳のセット

ミルクホースのもう一方の端を直接牛乳パックに差し込むかミルククーラー等に取り付けます。※ミルクは成分無調整のものをお勧めします。加工乳＝×
イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの下にカップを置きます。
前出③を参照しスチーム給湯ノブを時計回りに回します。
（スチームはボタンを押してから 3 分経つと解除されます。STEAM READY/ スチーム選択可能表示が消えている場合は再度②からやりなおします。）

④設定した秒数に達すると以下の表示がでるのでスチーム / 給湯ノブを元の位置へ戻します。

⑤以下の表示に戻ります

※抽出途中でも給湯ノブを元の位置に戻せばスチームをとめられます。
※ STEAM READY/ スチーム選択可能表示がでている間はいつでもスチームを出すことができます
※給湯ノブを閉じていない間はノズル内に残った水分やミルクが落ちてくる事があります。ご注意ください

※ミルクフォームの量＝スチームの噴出時間、はロータリースイッチの回転で増減できます。（3 ～ 60 秒）
カップサイズやお好みにあわせて秒数を調整してください。

カプチーノ基本分量：
コーヒー 80cc+ ミルクフォーム 10 秒
（コーヒー 10cc 増：ミルクフォーム 1 秒増）

何もいじらなければ、前回抽出時の秒数が自動的に適用されます。

コーヒーの抽出

⑥ミルクフォーム抽出後、再度スチームボタンを押しスチームを解除します。給湯ノブを開き表示が WATER/ 熱湯にかわるまでお湯を出し（ヒーター内に新たな水を呼び込む）ヒーター温度を下げ給湯ノブを閉じて下さい。
（その際熱湯が飛び散る恐れがありますのでご注意下さい。）
カップをコーヒー抽出口（17）の下に移動してお好みの量・濃度のコーヒーを抽出すればカプチーノのできあがりです。

■使用後の洗浄

イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーご使用後は下図のようにぬるま湯または水を吸わせて洗浄して下さい
※長時間放置すると残ったミルクが固まり、つまりの原因となります。

●チューブの先端を適量のぬるま湯または水にひたし、スチーム / 給湯ノブ（14）を開く。排出される水がある程度きれいになるまで続けてください。

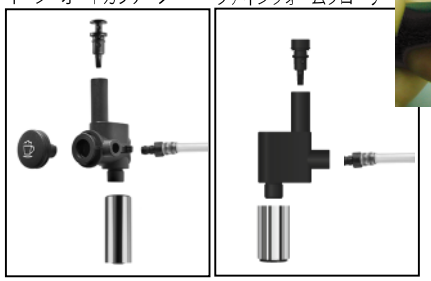
※スチーム選択可能表示が消えてしまっている場合は、再度スチームボタンを押します。
左記②～④参照

※ 1 日の終わりには必ず専用洗剤（別売）を使用して洗浄して下さい。→p .13 ミルクライン洗浄マニュアル参照

イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの洗浄の必要性をお知らせする機能はありません。
使用後は必ず洗浄して下さい。

■分解洗浄

汚れのひどい場合はイージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーを本体から取り外し、下図のように分解します。洗剤を使用してつけ置き洗いし、ブラシ等でミルク粕を完全に取り除いた後、きれいにすすいでください。
各パーツを元通りに組み立て、本体にとりつけます。
※組みたてを間違えるとミルクがでません。



■パウダーコーヒー（既挽粉）での抽出

①コーヒー抽出口（17）の下にカップを置きます。

②パウダーコーヒー投入口（11）の蓋を開けます。

FILL POWDER	要補充 パウダー

③パウダーコーヒー投入口にウェルカムパック付属のスプーンでコーヒー粉を１～２杯入れ、蓋を閉じます。

POWDER	パウダー
↓	
SELECT CUP BUTTON	要選択 ボタン

④お好みの抽出ボタン（5）または（6）を押します。

前回抽出時の量が表示されるので、ロータリースイッチ（1）を回して好みの抽出量を設定。コーヒーが抽出されます。

※インスタントコーヒー及びフレーバーコーヒーは絶対に使わないで下さい
※コーヒー粉以外のものを入れないでください。
※コーヒー粉は新鮮な豆の挽きたてのもの、または真空パック入りのものをおすすめします。
※パウダーコーヒー投入口には２杯以上の粉をいれないでください。コーヒー投入口は粉の貯蔵庫ではなく、お使いの度に入れていただくものです。
※挽きの細かすぎるコーヒー粉はお避けください。目詰まりしてシステム障害の原因となりコーヒー粉そのものが抽出口から落ちてしまう可能性があります。
※投入したコーヒー粉量が少なすぎると ADD MORE POWDER / 不充分　パウダー　と表示され、抽出準備モードに戻ってしまいます。
※抽出途中でも再度抽出ボタンを押せば、抽出をとめることができます。

■お湯の抽出

ウェルカムパックに付属の給湯ノズルを使用すればお湯の抽出ができます。カップのあたためや、紅茶等（ティーバッグのみ）にご利用いただけます。

①イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーを本体から取り外し、右図の様に給湯ノズルを取り付けます。

②給湯ノズルの下にカップを置きます。

③スチーム / 給湯ノブ（14）を時計まわりに給湯マークの位置まで回します。
前回の給湯量が表示されます。
ロータリースイッチを回して量の変更ができます。

ディスプレイに以下のように表示され、お湯が抽出されます。

WATER	熱湯

④設定した量に達すると自動的にお湯が止まり、以下の表示が出るのでスチーム / 給湯ノブを元の位置まで戻します。
給湯を途中で止めたいときも同じように元の位置まで戻してください。

CLOSE TAP	ノブ　閉

※給湯直後のノズルは大変熱くなっています。取り外しの際はラバー部分を持つか、温度が下がってから行ってください。
※抽出開始時にお湯がはねる事がありますので充分にお気をつけください。
※スチーム / 給湯ノブを開けたままにしていると内部に残ったお湯が落ちてくることがあります。ご注意ください。

■スチームオプション部品

本マシンに付属のイージーオートカプチーノまたはファインフォームフローサーの他にミルク抽出用パーツにはプロフェッショナルファインフォームフローサー、２段階スチームジェットの２種があり、用途にあわせて付替が可能です。
どちらもミルクの泡立ちあり・なしが選べ、プロフェッショナルファインフォームフローサーはミルクのキメや温度も調整できます。
詳しくは販売代理店までお問い合わせください。

プロフェッショナル ファインフォーム フローサー

２段階 スチームジェット

■各種設定・1

以下の項目をお好みに合わせて設定および変更することができます。

- ●浄水器使用・不使用
- ●水質硬度設定
- ●アロマ設定
- ●温度設定
- ●時刻設定
- ●自動電源 ON/OFF
- ●抽出回数カウンター
- ●表示言語
- ●時刻表示方法設定
- ●水量表示設定

設定項目	設定画面へ →	設定項目選択 →	設定項目決定 →	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す →	備考 →	決定 →	通常画面へ戻る
浄水器使用・不使用 (＝クラリス)	クラリスのページ（p .3）参照						
水質硬度							
アロマ	プログラミングキー（4） 長押し P	※上段に英語表記の場合 下段に日本語表記の場合を 示しています。 AROMA アロマ	ロータリースイッチ（1） 短押しで決定	STANDARD 普通 ROBUST 強	どちらかを選ぶ	ロータリースイッチ（1） 短押しで決定	プログラミングキー（4） P 短押しで 設定画面終了
温度		TEMP* 温度		NORMAL 普通 HIGH 高温	どちらかを選ぶ		
時刻 (時計機能はありません)	ロータリースイッチ（1） まわして 設定項目表示	TIME 時刻		- - : - -	ロータリースイッチを回して 時：あわせて短押し ↓ 分：あわせて短押し	※続けて他の項目を 設定したい時は ロータリースイッチを 回して任意の項目を 表示させる	READY 選択可能 通常画面へ
自動電源 ON (時刻設定後)		UNIT ON 始動時刻		- - : - -			
自動電源 OFF		OFF.AFT.HR 切時間		*HRS * 時間後	起動後１～９時間後の間で 設定 ロータリースイッチを回して 任意の時間を表示		

■各種設定・2

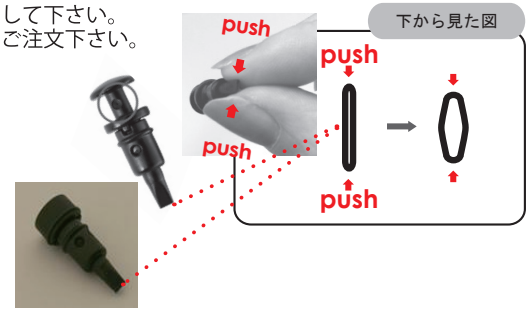
設定項目	設定画面へ	設定項目選択	設定項目決定	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す	備考	決定	通常画面へ戻る
抽出回数カウンター	プログラミングキー（4） 長押し P	※上段に英語表記の場合 下段に日本語表記の場合を 示しています。 CUPS.MADE 抽出数	ロータリースイッチ（1） 短押しで決定	抽出総数が表示されます。 例）100 杯 100	1 杯取り抽出ボタン（5） 2 杯取り抽出ボタン（6）を押 すと個々のボタン毎の抽出数 が表示されます。 パウダーコーヒーの抽出数を 調べるにはパウダーコーヒー 投入口（11）のフタを開けま す。	ロータリースイッチ（1） 短押しで決定	プログラミングキー（4） P 短押しで 設定画面終了
表示言語		LANGUAGE 言語		例）日本語表示 日本語	日・中・韓・英・独の 5ヶ国語から選択		
時刻表示方法	ロータリースイッチ（1） 	DISPLAY 表示方法		24H/AM.PM 時間表示	ロータリースイッチを回して 	※続けて他の項目を 設定したい時は ロータリースイッチを 回して任意の項目を 表示させる	READY 選択可能 通常画面へ
水量表示方法	まわして 設定項目表示			ML/OZ 水量表示	好みの方の表記 （24H または AM.PM） （ML または OZ） を表示させておく		

ご不明の点は販売代理店へお問い合わせください。

■トラブルシューティング・1

ディスプレイに表示されるケース			
ディスプレイ表示（英語 / 日本語）		解決方法	それでも復帰しない場合
FILL WATER	要補充 水	水を補給する（p.4）	●水タンク内の水位感知部品が外れていませんか？ 黒いプラスチック部品がはずれている場合はタンク内の小部屋に収め、透明なプラスチックカバーをしてください。また、水タンクをふって、小部屋内で部品が動くかどうか確認してください。 ●水タンクが汚れていませんか？タンク内は常に清潔にしてください。
FILL BEANS	要補充 豆	コーヒー豆を補給する（p.4）	●初めてご使用の場合はもう 2～3 回抽出ボタンを押してみてください。挽きが細かすぎる場合もあります。p. 4 コーヒーの抽出の項の一番下をご参照ください ●その他の場合は豆ケースに異物（水、木片等）が入った可能性があります。洗浄タブレット投入口（11）を開け、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってみてください ●解決しない場合は至急販売代理店に連絡してください。
EMPTY GROUNDS	要廃棄 粕	コーヒー粕を捨てる（p.4）	●粕ケースを取り出し、10 秒後に再度セットしてください。
TRAY MISSING	トレイ リセット	ドリップトレイをしっかりと入れなおす	●ドリップトレイを取り出し、10 秒後に再度セットしてください。 解決しない場合は販売代理店に連絡してください。
EMPTY TRAY	トレイ内 要廃棄	ドリップトレイ内の排水を捨てる（p.4） （トレイ内が満水にになると赤い排水マーカーが出ます）	●解決しない場合は販売代理店に連絡してください。
FILTER	浄水器	カートリッジを交換する（p.3）	●カートリッジがしっかり固定されているか再度確認してください。
CLEAN	洗浄	洗浄プログラムを実行してください （冊子裏面 p.11）	●洗浄タブレットを使用せずにもう一度洗浄プログラムを行ってください。
DECALCIFY	CA 除去	カルシウム除去プログラムを実行してください （冊子裏面 p.12）	●カルシウム除去剤を使用せずにもう一度カルシウム除去プログラムを行ってください。
FILL SYSTEM	要補充 水経路	初めてご使用の際は p.2 動作準備の項をご参照ください。	●水タンクがしっかりとささっているか、タンクの下に異物が挟まっていないかご確認ください。 ●水タンク下のネットフィルターにごみが溜まっていないかご確認ください。 ●本体給水口の外周溝に異物が入っていないかご確認ください。
OPEN TAP	ノブ開	スチーム / 給湯ノブ (14) を開いて 水分を排出する	●コーヒーの挽きが細かすぎてつまっている可能性があります。 p. 4 コーヒーの抽出の項の一番下をご参照ください。
ERROR 1	エラー 1	再度電源を入れなおし数分待ってください。	●異常加熱、センサー異常。販売代理店にご連絡ください。
ERROR 5	エラー 5	再度電源を入れなおし数分待ってください。	●加熱不良。販売代理店にご連絡ください。
ERROR 8	エラー 8	電源を切りプラグを抜いて数分後、再びプラグをさし、スイッチを入れるとしばらく使用できる場合があります。	●至急販売代理店にご連絡ください。
上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。			

■トラブルシューティング・2

ディスプレイに表示されないケース		
トラブル	**考えられる原因**	**解決方法**
使用中に電源が落ちてしまう ※症状を放置すると基盤等の 重要部品が故障する恐れがあるので ご注意ください。	電気容量が不足している	●同じ電源を使用している機器のプラグを外してください　●電気工事店にご相談ください。
	内部のヒューズ切れ	●直ちに使用を中止してください。
コーヒーの出が悪い ポタポタとしか出てこない	豆の挽きが細かすぎる	●豆の挽き調整を粗くする（豆ケース内のダイヤル：印が大きくなるほど挽きが粗くなる）
	フィルターの目詰まり	リンスボタン（7）でリンスを 2 ～ 3 回行ってください。
左右の抽出量が均等でない 抽出口の片側だけ出が悪い	マシンの傾き 抽出口内部の汚れ	●設置台の水平をとってください ●詰まっている側の抽出口を針金やクリップのような細いもので下からやさしくつついてみてください。 何度かつついたら続けて洗浄タブレットを使った洗浄を行ってください。(冊子裏面 p.11) それでも解決しない場合は内部で汚れが固まっている可能性があり、修理が必要となります。
ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない ミルクを吸わない ミルクフォームが出てこない	エアーサクションの汚れ・目詰り イージーオートカプチーノまたは ファインフォームフローサーの汚れ	●右図のようにエアーサクションを両端から押し、口が貼りついていないか確認して下さい。 また、汚れている場合は洗浄してください。それでも改善しない場合はスペアをご注文下さい。 ● p.5 に従ってイージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーを洗浄してください。 ●ミルクの固まりがつまっている場合、応急措置としてイージーオートカプチーノ / ファインフォーム フローサーを取り外し、左図のように針金やクリップ等先の細いものでスチームのでる穴をつつく。 ※時間ができ次第、洗浄してください。 
	イージーオートカプチーノ ファインフォームフローサーのの組立不良	●イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーの各部品がしっかりはまっているか、再度ご確認下さい。
コーヒーを挽くときに異音がする ミルが空回りして豆を挽かない	豆ケースに異物が混入した 豆ケース内にコーヒーの微粉が 溜まっている 豆ケースに誤って水を入れてしまった	●洗浄タブレット投入口（11）を開け、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってみてください ●お預かり修理となります。販売代理店へご連絡ください。
(設定を変えていないのに) コーヒーが薄くなった	豆の油分過多によるグラインダー 内部の粉詰まり	●電源を切り、豆ケース内を乾いた清潔な布で拭き取る。 ●豆の挽きを一番粗くして数回挽く 上記で解決しない場合は修理となります。販売代理店へご連絡ください。
粕ケースが入らない	洗浄中やリンス中など、ユニットの上下動中にトレイ、粕ケースを抜いてしまい、ユニットの部品と粕ケースがあたってしまう。	●**粕ケースを入れずに**トレイだけをいったん元の位置にセットし、ON/OFF ボタンおよび本体背面の主電源ボタンを OFF にする。 2 ～ 3 分してから主電源ボタンおよび ON/OFF ボタンをＯＮにして READY 表示になったらトレイを抜き、 粕ケースを入れて再度セットする。 ユニットの動作音がしている間は粕ケースおよびトレイを抜かないようご注意下さい。
コーヒーがぬるい	カップを温めていない	●陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず 60 ～ 70℃程度に温めてからお使いください。 エスプレッソ等抽出量の少ないものほど事前のカップの温めが重要です ●（p7 温度の設定）を参照してコーヒーの温度を高温に設定してください
上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。		

■インプレッサ F50 洗浄マニュアル (※業務用でお使いの方は毎日行ってください)

下記の表示が出たら洗浄タブレットを使用して洗浄プログラムを行ってください。

CLEAN	洗浄

洗浄タブレット
販売代理店または㈱コントラストにご注文ください。(1 本 60 錠入)

業務用にお使いの方は、表示が出ていなくても業務終了時に毎日行ってください。

洗浄は約 15 分かかります。
洗浄プログラム終了後は通常通り抽出可能となります。

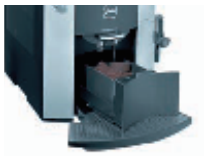
この作業は中断できません。

■洗浄プログラム

①以下の表示が出るまでリンスボタン（7）を押し続けます。

EMPTY TRAY	トレイ内要廃棄

②ドリップトレイ（20）の排水と粕ケース（18）のコーヒー粕を捨て本体に戻します。



③ドリップパネル（19）を外し、コーヒー抽出口（17）の下に適当な容器を置きます。

④以下の表示が出たらリンスボタン（7）を押します。

PRESS RINSE	押すリンス

CLEANING	洗浄中

⑧以下の表示に従い洗浄タブレット投入口（11）に洗浄剤を投入しフタを閉めます。

ADD TABLET	要投入洗浄剤

洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、手袋・保護メガネ等をご着用下さい。

⑨以下の表示が出たらリンスボタン（7）を押します。

PRESS RINSE	押すリンス

⑩洗浄がはじまります
ここから終了まで約 13 分です

CLEANING	洗浄中

⑪ドリップトレイの排水と粕ケースにたまった水を捨て、それぞれを中性洗剤を使用してきれいに洗ってから本体に戻します。

EMPTY TRAY	トレイ内要廃棄

※食器洗浄機には入れないでください。変形して不具合の原因となります。

⑫下図の表示に戻り再びコーヒーが抽出できます。

READY	選択可能

⑬洗浄タブレット投入口（11）を乾いた清潔な布できれいに拭いてください。

⑭外装もきれいに拭いてください。

以上で洗浄プログラムは終了です。

■インプレッサ F50　カルシウム除去マニュアル（浄水器クラリスプラスをお使いでない場合はこちらの作業が必要です）

SWISS MADE

以下のようなサインが出たら
カルシウム除去が必要です。
※サインが出てもコーヒーやお湯の供給はできますが通常の洗浄プログラムができなくなります。できるだけ速やかにカルシウム除去を行ってください

DECALCIFY　CA 除去

カルシウム除去剤
販売代理店または㈱コントラストにご注文ください。
（9 錠入り・3 回分）

■カルシウム除去プログラム

カルシウム除去は約 40 分かかります。

この作業は中断できません。

①マシン前面の ON/OFF スイッチ (3) を押し電源を切ります。
※重要！電源を切らないとプログラムが作動しません。

②以下の表示が出るまでリンスボタン（7）を押し続けます。

EMPTY TRAY　トレイ内要廃棄

③ドリップトレイ (20) の排水と粕ケース (18) のコーヒー粕を捨て本体に戻します。

④本体から水タンクを外し中に残っている水を捨てて空にします。

⑤カルシウム除去剤 3 錠と 500cc の水を正確に計りタンクに入れ、再び本体にセットして、カルシウム除去剤が完全に溶けるまで待ちます。

SOLVENT IN TANK　除去剤投入

※水の量が不正確だと適切な効果が得られません。
また、水が多すぎる場合、水がなくなるまでプログラムを作動し続け時間がかかりますのでご注意ください。

⑥イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサー（または給湯ノズル）を本体から外し、その下に適当な容器（500 m l 以上）を置きます。

OPEN TAP OUT　ノブ　開

⑦上記の表示が出たら、給湯ノブ（14) を時計回りに給湯マークまで回します。

DECALC*ON　除去中

⑧表示が以下のように変わったら、給湯ノブを元の位置へ戻します。

CLOSE TAP　ノブ　閉

DECALC*ON　除去中

⑨表示が以下のように変わったら

EMPTY TRAY　トレイ内要廃棄

ドリップトレイの排水と粕ケースの排水を捨て、それぞれをきれいに洗って本体へ戻します。

⑨以下の表示がでます

FILL WATER　要補充水

水タンクをていねいにすすぎ、きれいな水で満たして本体へ戻します。

この後すすぎの作業へ入ります
ここからは手順⑥～⑨の繰り返しです。
きれいな水を再度通すことによって内部に残った除去剤を洗い流します。

■すすぎ

⑩水タンクを本体に戻すと以下の表示がでます。

OPEN TAP OUT　ノブ　開

前出⑥と同じように適当な容器（500 m l 以上）を置き、給湯ノブ（14) を時計回りに給湯マークまで回します。

⑪

DECALC*ON　除去中

CLOSE TAP　ノブ　閉

給湯ノブを元の位置へ戻します。

DECALC*ON　除去中

⑫表示が以下のように変わったら

EMPTY TRAY　トレイ内要廃棄

ドリップトレイの排水と粕ケースの排水を捨て、それぞれをきれいに洗って本体へ戻します。

⑬イージーオートカプチーノ / ファインフォームフローサーまたは給湯ノズル）を元の位置に取り付け、コーヒー抽出口（17）の下に適当な容器を置きます。

PRESS RINSE　押すリンス

RINSING　リンス中

READY　選択可能

以上でカルシウム除去プログラムは終了です。

■インプレッサ F50 ミルクライン洗浄マニュアル（※ 業務用でお使いの方は毎日行ってください）

ミルクを使用したら、終業時に必ず専用洗剤を使用してミルクラインの洗浄を行います。

ミルクライン用洗剤
販売代理店または㈱コントラストに
ご注文ください。(1.8ｋｇ入 約4～5ヶ月分)

ミルクライン洗浄の必要性をお知らせする機能はありません。
洗浄を促す表示は出ませんが、毎日終業時に必ず洗浄をしてください。
洗浄をしないと残ったミルクが内部で固まってつまり、ミルクフォームが泡立たない、温度が低いなど、トラブルの原因となります。

アタッチメントが違っても洗浄方法は同じです。
別売オプション品を含めるとミルクフォームを作る為の様々なアタッチメントがありますが基本的に洗浄方法は同じです。

- ●イージーオートカプチーノ
- ●ファインフォームフローサー
- ●プロフェッショナルオートカプチネーター
- ●２段階スチームジェット

ここでは上記を総称し**カプチネーター**と記載します。

洗浄は約５分かかります。
洗浄終了後は通常通り抽出可能となります。

■ミルクライン洗浄

①スチームボタンを押します。

HEATING	加熱中

②スチームの準備ができる間に適当なカップまたはグラスを３つ用意しておきます。
○１つめのカップには125ccほどのぬるま湯に対し5cc（付属の軽量カップひと目盛）のラテ・ウォッシュ（注 *1）をよく溶かして洗浄液をつくり、ミルクチューブの先を浸します。
○２つめのカップにはすすぎ用のきれいなぬるま湯を125cc ほど用意しておきます。
○３つめのカップは排水受けとして使うので空の状態でカプチネーターの下におきます。

洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、手袋・保護メガネ等をご着用下さい。

（注 *1）
まぜるな危険！換気注意！
塩素系洗浄剤：酸性製品と混ぜると有害ガスが発生

STEAM READY	スチーム選択可能

③表示が上記のように変わったら給湯ノブを開きます ※

STEAM	スチーム

洗浄液が吸い上げられ、カプチネーターから排出されます。
洗浄液を全て吸い上げたら、給湯ノブを閉じます。

※スチームボタンを押してから一定以上の時間が経つと READY 表示に戻ってしまいます。その場合は再度スチームボタンを押して下さい。READY 表示の状態でノブを開くと水タンクからの給湯となってしまい、洗浄液を吸い上げません。

■すすぎ

④今度はすすぎ用のきれいなぬるま湯にミルクチューブを浸し、再び空の容器をカプチネーターの下におき、給湯ノブを開きます。

⑤すすぎの水を全て排出したら給湯ノブを閉じて終了です。

汚れのひどい場合は分解洗浄を行ってください。（p5 参照）

■プロフェッショナル・ファインフォーム・フローサー（別売オプション品）ご使用方法

SWISS MADE

プロフェッショナルファインフォームフローサーを使えば、ミルクフォームのキメ、温度の調整ができ、泡立たないスチームドミルクもつくれます。

製品の仕組み

プロフェッショナルファインフォームフローサー（以下フローサー）は右図のような仕組になっており、中央の黒いつまみ（調整ノブ）を回すことによってミルクの温度、泡のキメ、泡立ちあり・なし等を設定します。

※フローサーは毎日洗浄し、常に清潔に保ってください。

※フローサーが本体にしっかり取付けられていることをご確認ください。正しく取付けられていなかったり、ノズルに乾いたミルクが詰まっていたりするとスチーム噴出中に突然ノズルが外れる可能性があります。

ホースのセット

ピンクの輸送時用保護カバーを取り外し、ミルクホースをフローサーに取付けます。

■使用方法

空だし

内部に滞留している余分な水分をとばす作業です。

①フローサーの下にな水分をうける適当な容器を置きます。

②ミルクホースを手に持ち、（=牛乳等の液体に差し込まれていない状態で）スチームボタン（8）を押します。

HEATING	加熱中
↓	↓
STEAM READY	スチーム選択可能

③スチーム / 給湯ノブ（14）を時計まわりに回します。
水っぽい蒸気が出るので 5 秒程待ち、（手などにかからないよう注意）その後ノブを元の位置に戻して下さい。
スチーム噴出中はディスプレイに以下の表示がでます。

STEAM	スチーム

ミルクの抽出

ミルクホースを直接牛乳パックに差し込むかミルククーラー等に取り付けます。（※ミルクは成分無調整をお勧めします。加工乳= ×）

④調整ノブをお好みの位置にあわせます。フローサーの下にカップを置き、スチーム / 給湯ノブ（14）を時計回りに回して下さい。
（スチームはボタンを押してから 3 分経つと解除されます。STEAM READY/ スチーム選択可能表示が消えている場合は再度②からやりなおします。）

⑤設定した秒数に達すると以下の表示がでるのでスチーム / 給湯ノブを元の位置へ戻します。

CLOSE TAP	ノブ　閉

⑥以下の表示に戻ります

STEAM READY	スチーム選択可能

※抽出途中でも給湯ノブを元の位置に戻せばスチームをとめられます。
※ STEAM READY/ スチーム選択可能表示がでている間はいつでもスチームを出すことができます
※給湯ノブを閉じていない間はノズル内に残った水分やミルクが落ちてくる事があります。ご注意ください

※ミルクフォーム、スチームドミルクの量（＝スチームの噴出時間）はロータリースイッチの回転で増減できます。（3 ～ 60 秒）
カップサイズやお好みにあわせて秒数を調整してください。
何もいじらなければ、前回抽出時の秒数が自動的に適用されます。

コーヒーの抽出

⑦ミルクフォーム抽出後、再度スチームボタンを押しスチームを解除します。給湯ノブを開き、表示がWATER/ 熱湯にかわるまでお湯を出し（ヒーター内に新たな水を呼び込む）ヒーター温度を下げ給湯ノブを閉じて下さい。（その際熱湯が飛び散る恐れがありますのでご注意下さい。）
カップをコーヒー抽出口（17）の下に移動してお好みの量・濃度のコーヒーを抽出すればカプチーノ、カフェオレのできあがりです。

■使用後の洗浄

フローサー使用後は下図のようにぬるま湯または水を吸わせて洗浄してください。
※長時間放置すると残ったミルクが固まり、つまりの原因となります。

●チューブの先端を適量のぬるま湯、または水にひたし、スチーム / 給湯ノブ（14）を開く。排出される水がある程度きれいになるまで続けて下さい。※スチーム選択可能表示が消えてしまっている場合は、再度スチームボタンを押します。左記②～④参照

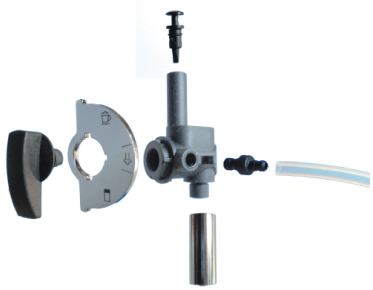
※1日の終わりには同梱のミルクライン用洗剤（非売品）または中性洗剤等を使用して洗浄します。

250ml のぬるま湯にキャップ 1 杯の洗剤を溶かした洗浄液を吸わせた後、きれいな水を吸わせてよくすすいで下さい。

※ミルク調整ノブの位置を上下変えて両方とも洗浄を行ってください。

※ミルク調整ノブがボイラー水抜きの位置にあると洗浄液を吸い上げないのでご注意ください。

洗浄の必要性を自動的にお知らせする機能はありません。使用後は必ず洗浄して下さい。

■分解洗浄

汚れのひどい場合はフローサーを本体から取り外し、下図のように分解します。洗剤を使用してつけ置き洗いし、ブラシ等でミルク粕を完全に取り除いた後、きれいにすすいでください。各パーツを元通りに組み立て、本体にとりつけます。
※組みたてを間違えるとミルクがでません。